

地区 だより

春の交通安全運動

春の全国交通安全運動は例年どおり四月六日から十五日までの十日間行われ、県内でもそれぞれ地域の実情に沿ったユニークな活動を展開しました。しかし、交通事故はいぜん増加の傾向が続いています。発着中の交通事故は、発生百十二件、死者二人、傷者百三十六人で前年に比べて死者が同数のほか発生二十三件、傷者二十人増加しています。原因は前方不注意

意など基本ルール違反が多く、死亡事故は速度の出過ぎによる自爆型が目立っています。一人ひとりが安全意識を高め事故が減少することを期待し、各地で行われた活動の一端を紹介します。

高齢者を訪問交通安全を呼びかける
(小笠原)
小笠原警察署(石川仁一署長)では、安協はじめ関係団体と協力し若草町藤田地区七十五才以上の高齢者七十三人宅を戸別に訪問し、慰問品やチラシを贈って交通安全防止を呼びかけ、車両運転等についてもアドバイスしました。

交通安全レター大作戦を行う
(富士吉田)
富士吉田警察署(横森保貴署長)では、運動の初日交際協等の協力をえて交通安全宣言大会を開き、署前国道で舟津小学校四年生百十四人の「運転者の皆さんへ」の手紙をドライバーに贈って安全運転を呼びかけました。ドライバーの皆さんも笑顔でこれに答えていました。



藤田地区高齢者宅を訪問し事故防止を呼びかける(小笠原)



国道137号線で交通安全レター作戦を(富士吉田)



都留安協婦人部を結成し暴走族追放を宣言



運動の出発式でヤングドライバー代表が決意表明する



出動前の白バイ隊員を点検する吉田県警本部長



南甲府駅前で黄色い羽根を配布し安全を(南甲府)

◆題材
啓発指導に資するため

◆趣旨
交通安全の写真を通じて、交通安全に対する理解と関心を高めるとともにこの写真を用いて展示会を開催するほか、ポスターの作成、機関紙掲載等の方法により、交通安全に対する啓発指導に資するため

◆サイズ
白黒、カラーとも四切

◆印刷
白黒またはカラープリン

◆賞
最優秀賞一名、賞状、賞金二万円
金賞四名、賞状、賞金一万円
銀賞四名、賞状、賞金七千円

◆締め切り
平成元年八月三十一日

◆送り先
甲府市丸の内一丁目六一(千四〇〇)
財団法人山梨県交通安全協会 電話〇五五二(三七七八二七)

◆発表
平成元年九月下旬

◆審査員
主催者、後援者の委員および主催者の委嘱する写真専門家

◆観光は、マナーを守って美しく
〇〇月〇〇日から観光週間
今年も八月一日から一週間、第二十五回観光道徳の高揚と観光資源の保護週間(観光週間)が全国一斉に行われます。

◆観光週間は、政府機関、都道府県を始め各種団体の協賛により行われ、その概要は次のとおりです。この運動にご協力をお願いします。

一、実施時期
八月一日(火)から七日(月)まで

二、実施目標
◎観光道徳の高揚
◎観光地の美化
観光地を美化するため「ゴミは持ち帰る」という意識の定着化をさらに推進する。

三、実施テーマ
「観光はマナーを守って美しく」を統一テーマとして設定し一層の推進を図る。

山梨県警察愛唱歌
作詞 中山大三郎
作曲 望月吾郎
尾形大作
田中愛彦

山梨県警察では、県民の防犯意識を高め県民と警察のふれあいを深めるために、このほど「春の防犯運動・県民と警察のつどい」を開きました。その際警察愛唱歌「こころはればれ」の製作発表を行いました。この歌が広く皆さんに歌われて警察との絆の一助になればと願っています。

こころはればれ

うけよう ぜ ひかり とどかぬ ひかり とどかぬ
こと だろ う いっぼ ちがえば いっぼ ちがえば
んだ みち だ こころ はればれ こころ はればれ

せけんのす ん を お れ の こので て
じんせいな ん て お な な じ さだめの が
あるいてゆ け ば ま ち に えがおの は

ら した い
け っ ぶ
な が さ

ひと の こころ たよ り な さる
はな も あるだろ こい も り あた
かけ せいきを まも り

そここちの でばんじやないか むねを たたいて ひき
そうさだれかが ささえてやれば はなも ちらげず ひき
やりにかくれて はびこるやつを はなも ちらげず ひき

◆主催
財団法人山梨県交通安全協会

◆後援
山梨県警察本部
山梨日日新聞社
山梨県交通安全母の会連合会

◆応募規定
①応募作品は未発表のもの
②他に発表予定のないものに限り、撮影の時期は問わない。
③応募作品には必ずネガを添付すること。ネガのないものは入賞することはできない。
④応募作品およびネガは返却しない。
⑤応募作品の著作権は主催者に属する。
⑥応募作品の裏面には必ず応募票をはり、次のことを記入すること。住所、氏名、題名(事故写真については事故原因)
⑦審査は交通安全思想の高揚に役立つものおよび写真技術等を重視して行う。